

やっと春らしい季節になりました♪お天気がいい日はドライブも気持ちいい!!さて、どこに行こうかな

## 2月、長崎セミナーに参加してきました♪

定例会を兼ねた「長崎セミナー」が開催され（長崎性教協との共催）、雪！という悪天候の中、午前、午後ともに43名の方が参加してくださいました。予定されていた分科会は、雪のためにキャンセルされる方がいたこともあって、急遽A分科会のみになりましたが、「参加してよかった」という感想を多数いただきました。

### 分科会 「子ども達に対する遺伝教育 長崎大学遺伝教育プロジェクトの取り組み」

今回は、11月の定例会で発表していただいたものの小学生バージョン♪参加者は5年生になった気持ちでプログラムを体験させていただきました。

～プログラムの中から～

「遺伝の木」の時の様子



各自、3種類の特徴について有無を記入した葉っぱを持ちます。幹に書かれている特徴についての質問に答えながら進み、最後に貼ると・・・  
今回はこのような木になりましたが、行うグループが変わるとまた違った木になるそうです♪

\*人が持つ特徴の組み合わせは多様で、同じ組み合わせは一つもない。「みんな違うんだ！違っていいんだ！」ということをお心と体で「感じる」ことができるプログラムでした♪

参加者の方からも「唯一性、多様性について学ぶことは全ての基盤になると感じました。」「今までにない視点、角度で学ぶことができました。」などの感想が寄せられました。

### 講演会 「虹の架け橋をわたる ～性の多様性～」

渡辺 大輔（埼玉大学 基盤教育研究センター）

「イクメン」という言葉はあるのに「イクママ」はない。ママは子育てをするのが当たり前だから・・・このことを聞くまで「イクメン」ということばに違和感を感じなかった私。性別役割に関する思い込みが深いんだな・・・ということに気付かされた瞬間でした。また、実態調査の結果、LGBTの子どもは低学年の頃からイジメを受けやすく、特に「男の子らしくない男の子」は深刻で、長期的なイジメを受けている傾向にあるそうです。子どもたちはセクシュアルマイノリティについて知らないのではなく、「おかしなもの」や「笑い」の対象として既に知っています。そのため、小さい頃から発達段階に応じて「性の多様性（性別自認（こころの性）、身体的性別、性表現（らしさ）、性的指向（好きになる性）、制度的性別（戸籍の性）」についての教育が大切だということでした。

講演をお聞きし、午前に続き有名な作家さんのことば「みんな違ってみんないい」が浮かびましたし、改めて、幼児期からの教育の大切さを感じた時間でした。

### お知らせ

次回の定例会は、5月20日（土）の予定です。

例年通り、情報交換会を予定しています。「こんな方法あるよ！」や「今、こんなことに困ってるんだよね～」など、何でもOK♪です。皆さんのご参加お待ちしております♪

